



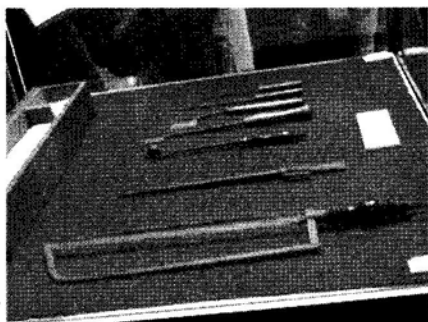
# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-5 18-1 清和会第 2 ワールドナースィングホーム  
Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010

## 親睦日帰りバス旅行～歴史の町・佐倉・四街道

佐倉順天堂記念館にて



参加者の皆さん (近藤邸)



昨年 10 月 26 日に予定されていたにもかかわらず、台風のために延期されていたバス旅行が今年度最後の特別行事として、3 月 29 日 (土) に薫風薫る青空の下、実施された。本バス旅行は、会員相互の親睦を図ると共に地域に対する理解を深めることを目的としているが、今回は更に、若手会員や千葉大学に留学しているドイツ人との親睦を図り交流を進めることにより、文化・社会面における若者交流・活動に資することも目的とした。

そのため、若手会員やドイツ人留学生を勧誘したが、年度末のこととて多くは望めなかった。当初 48 名の参加希望があったが、種々の都合により最終的には 42 名の参加となった。特に、参加予定であったドイツ人留学生 2 名が、直前のインフルエンザ感染により不参加となったのは、非常に残念であった。陽春の青空の下、ドイツとの関わりの深い佐倉市と四街道市周辺の歴史的施設見学に胸を躍らせつつ、千葉駅前を定刻よりやや遅れて出発、9 時 30 分過ぎに佐倉に到着。車内では近藤貴子氏 (会員) に作成していただいた資料を参考にしつつ、随所で同氏の詳細な説明を受けながら下記の施設を見学した。

- ◎佐倉順天堂記念館：佐倉順天堂は藩主堀田正睦 (まさよし) の招きを受けた蘭医佐藤泰然が天保 14 年 (1843) に開いた蘭医学の塾で、近代医学の発祥の地。その後、ドイツ医学からも大きな影響を受けている。西洋医学による治療と同時に医学教育が行われ、佐藤尚中 (たかなか) をはじめ明治医学界をリードする人々を輩出した。現在、安政 5 年 (1858) に建てられた建物の一部が残り、これを記念館として公開しており、顕微鏡や骨を切断する、のこぎり他手術器具なども展示。当時は、麻酔薬などないため、手術に際しては痛みに耐えかねて失神する患者もいたようである。また、手術の前には、死亡しても文句を言わないという合意書も取り交わしていたとのこと。
- ◎佐倉高等学校記念館、地域交流施設：県立佐倉高等学校記念館は、旧佐倉藩主堀田正倫 (まさとも) の寄付により明治 43 年 (1910) に建築され、当初は本館として使用されていた。塔やドーム屋根を持つ明治期の木造洋風建築物として貴重な建物である。昭和 50 年 (1975) に改修工事が行われ、現在は主として学校の管理棟として使用されていて、国登録有形文化財になっている。当初、藩校として創立された佐倉高等学校が、明治 32 年 (1899) に県立に移管されて、100 周年の記念事業の一環として校内に建築された県立佐倉高等学校地域交流施設は、平成 11 年 (1999) に開館した。1 階には展示室と研修室があり、2 階は収蔵庫となっている。展示室には鹿山文庫関係資料 (県指定文化財) など多数の古書籍、順天堂関係書籍、旧制佐倉中学校時代の教材、教具などが陳列されて、歴史の深さを実感した。
- ◎旧堀田邸：旧堀田邸は、最後の佐倉藩主堀田正倫が、維新後東京から佐倉に移り住んだ邸宅で、平成 11 年秋に大規模な補修復元工事を終えている。平成 18 年 7 月 5 日には、住居部の玄関棟・座敷棟・居間棟・書斎棟・湯殿および土蔵、門番所の 7 棟が、「旧堀田家住宅」として国の重要文化財 (建造物) に指定され、重厚感に感動した。

(裏ページ下段へ)

◎ドイツ研修旅行中止のお知らせ

平成 26 年 3 月 25 日

会員各位 会長 宗宮好和  
会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、先にお知らせし参加者を募りましたドイツ研修旅行「デュッセルドルフ・日本デーとウィーン・ザルツブルクの旅10日間」につきましては、旅行委員会にて魅力的な旅行プランを企画して頂いたにも拘わらず催行人数25名に達しませんでしたので、大変残念ですが中止のやむなきに至りました。ご参加をお申込み頂きました方々には心よりお詫び申し上げます。今後どうするかに関しましては、皆様と共に考えて行きたいと存じます。どうかご理解の程、宜しく願い申し上げます。

—今後の主な催し物案内—

1. 2014 年年次総会

日時：5 月 10 日 (土) 14:00~17:30

場 所：フローラ西船 (JR 総武線・武蔵野線  
西船橋駅下車、南口より徒歩 3 分)

TEL：047-435-2211

式次第：総会 14:00~14:50

- 議案 (1) 2013 年度 事業報告
- (2) 2013 年度 決算報告
- (3) 2014 年度 事業計画 (案)
- (4) 2014 年度 収支予算 (案)
- (5) 次期役員について
- (6) その他

記念講演会 14:50~16:10

講師 財団法人 五倫文庫  
理事長 伊藤良昌氏

演題 「五倫文庫の由来と活動」

懇親会 16:10~17:30

会費 5,000 円

申込み：同封のはがきにて 4 月 30 日までに、  
ご返信下さい。

2. 市川市国際交流協会主催講演会(当会后援)

「ドイツ文化を学ぶ」・ドイツ哲学について

日時：5 月 11 日 (日) 13:30~16:30 (12:30 開場)

場所：市川市立図書館(コルトンプラザの向かい)

講師と演題：

高山 守氏(東京大学名誉教授)

「生命(いのち)ある世界を求めて」

千田 義光氏(國學院大學名誉教授)

「自己を見つめる」

参加費：無料

申込み：4 月 30 日までに下記宛に FAX で。

FAX No. 047-332-0101

市川市国際交流協会事務局

「5 月 11 日講演会」係

尚、◎参加者と同伴者氏名(ふりがな)、合計人数

◎連絡先(電話番号、Eメールアドレス)

を明記して下さい。(会員 桑原 純子)

—会費納入のお願い—

2014 年 (平成 26 年) 度会費の納入を同封の  
振込取扱票にてお振込みいただきますよう、  
宜しくお願い致します。

(前ページより)

◎社会福祉法人 佐倉厚生会 さくら苑：当会会員の丸山孝士氏が佐倉ホワイエ施設長を務めておられ、日独交流 150 周年記念菩提樹が 2011 年 10 月に 2 本植樹された。健やかに成長している菩提樹を見学した。

◎昼食：川村記念美術館敷地内、レストラン・ベルヴェデーレ：遅めの食事となったが、のどを潤した後、前菜盛り合わせ、パスタ、デザート、コーヒーを楽しんだ。

◎川村記念美術館、菩提樹植樹地：千葉県佐倉市郊外にある、広大な庭園の中に立つ美術館。近現代美術のコレクションとしては、日本でも有数の規模を持つ。DIC(創業時は「川村インキ製造所」)の創業者・川村喜十郎を初めとする川村家 3 代の収集品を公開するため、平成 2 年(1990)に開館したもので、館内見学と庭散策に分かれて行動した。広大な庭園の一角に植樹された菩提樹は樹全体に陽光を浴び、約 2m 近くに成長していた。

◎文化庁登録有形文化財・近藤家住宅(四街道市下志津新田)：明治 40 年から 41 年にかけて建造された母屋・長屋門・土蔵は、当時の大規模農家住宅の特長を良く伝えている。母屋の土間の窓からは、佐倉藩校「成徳書院」の御林の里山風景が広がり、内と外が一体に感じられる。天井には、海松模様の唐紙が星空のように浮かび、伝統的な空間にモダンな雰囲気醸し出している。九割は古材を用いて、釘を使わない伝統工法で作られている。母屋の「式台玄関」は「砲兵学校」のレンガが再利用され、物不足の困難な時代の面影を伝えている。長屋門の手前には、左にしだれ梅、右に柚子が植栽されている。100 年の風雪に耐え、手入れの行き届いた建物は、古民家の暖かさの中に凍とした姿を見せていた。これらの建物は平成 16 年に文化庁登録有形文化財となった。見学・説明後、美味しいお茶とお菓子を頂き、長旅の疲れを癒して頂いた。

以上のように、地元民以外には余り馴染みのなかった施設を見学でき、世の中には近くにあっても知られていない素晴らしい場所があることを認識させられ、感動の内に無事に旅行を終えることができた。

(当協会理事・渡部武弘)